

第15回（2024年度第1回）支部幹部会議事録

JCI 四国支部

1. 日時 2024年11月29日（金）15時00分～16時30分
2. 場所 香川県生コンクリート工業組合（Web会議）
3. 出席者 上田隆雄，大内雅博，岡崎慎一郎，河合慶有，近藤拓也，林和彦，藤井禎
古田満広，渡辺健，橋本親典
（事務局）新居宏美（計11名）

4. 配付資料

資料1 第14回支部幹部会議事録（HPアップ済）

資料2 2024年度活動状況および今後の予定

資料3 第17回コンクリート甲子園予選会参加校一覧（四国のみ）

資料4

- ・第4回「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」議事録（案）
- ・空気量計測・タグ加速度計測の見学会スケジュール（2024年11月20日）
- ・コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会 第5回委員会 議事次第（2024年11月25日）

資料5

- ・コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会 名簿
- ・「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」第1回委員会 議事録

資料6 【後援】【高知診断士会】第11回コンクリート技術研修会実施報告書

資料7 現場見学会実施報告書（四国横断自動車道 津田高架橋上部工事）

資料8 2024年度収支決算（中間報告）

資料9 JCI年次大会還元金使用計画案（広島，名古屋，千葉，九州）

資料10 本部代議員支部推薦候補者一覧

資料11 任期別支部執行部（2024年4月），支部執行部名簿（2024年7月）

5. 審議事項

上田支部長より支部幹部会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

（1）第14回（2023年度第1回）支部幹部会議事録の報告（資料1）

事務局より第14回支部幹部会について概要が報告され，審議結果が確認された。また，議事録が支部HPにアップ済みであることが併せて報告された。

(2) 2024年度活動状況および今後の予定について（資料2～7）

事務局より概要について説明がなされ、各担当者より活動について報告がなされた。主な内容および意見等は以下のとおり。

- ・ 第16回（2024年度第2回）支部幹部会を対面式により2025年1月21日（火）15時から香川県生コンクリート工業組合において開催する。終了後、高松市内にて懇親会を開催する。また、支部幹部会開催前に支部執行部候補者推薦委員会を開催することが併せて決議された。
- ・ 第17回（2024年度第2回）支部執行委員会をWeb会議により2025年1月27日（月）15時から開催することが決議された。
- ・ 「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」について、事務局より12月21日にWeb会議が開催予定であること、第17回コンクリート甲子園予選会に四国地区より9校が参加し、4校が12月7日開催の本選への出場が決定したこと、予選参加の9校のうち7校より支部支援制度に申し込みがあり、処理済み（支援額20,000円/校）であることが報告された。また、今回で香川での開催は最後であり、次回からは東京開催で準備を進めていること、本選当日は来賓としてJCIの前川会長が出席予定であることが併せて報告された。
- ・ 「コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」について、橋本委員長より対面式で5月14日に香川県生コン工組で第4回委員会を開催したこと、2回目の公開実験を阿南生コンクリート工業で実施したこと、実験費用でほぼ予算を消費したこと、11月25日に第5回委員会をWeb会議で開催したこと、今後は報告書の作成に取り組み2025年3月3日にパールガーデン（高松市）で成果報告会を開催する準備をしていること等が報告された。成果報告書は電子版としてUSBメモリで参加者に配布すること、来年度の総会以降に支部HPに無償でダウンロードできるようにしたいとの提案があり、承認された。また、成果報告会の収支で赤字になった場合の補填要請があり、承認された。
- ・ 「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」については、岡崎委員長より委員について紹介があった。さらに、本委員会は環境を配慮した新技術・新素材の開発がキーワードであること、11月21日に対面式により第1回委員会を開催したこと等が報告された。また、上田支部長より委員の増員、実験の積極的実施等について提案があり、その方向で進めることが確認された。
- ・ 事務局より後援事業である「コンクリート技術研修会」（主催：高知県コンクリート診断士会）について、事務局より146名の参加者で盛況であった旨の報告がなされた。
- ・ 事務局より現場見学会が昨年に引き続き開催されたこと、国土交通省四国地方整備局発注の四国横断自動車道津田高架橋上部工事（徳島市）であったこと、21名と多くの参加者であったこと等が報告された。
- ・ 「生セミナーin愛媛」について、担当者である河合幹事より愛媛生コン工組と協

議し「戻りコン・残コンの処理について」をテーマで準備していることが報告された。事務局より、これまで主催はJCI 四国支部、共催が愛媛生コン工組であることが報告され、今回も同じで形態でいいのかとの質問があり、愛媛生コン工組と相談し決定することが確認された。また、古田幹事より生コン業界にとって戻りコン・残コンの処理は重要課題であり、処理の有償化には産廃処理法も影響するので、関連法規も含めた講演を希望するとの意見が出された。

- ・ 「コンクリートに関する技術情報交換会（Web 会議）」について、事務局より 2 回開催し計 4 名の講師が講演されたこと等が報告された。
- ・ 事務局よりコンクリート診断士試験について、高松会場の合格率が 19.3%と全国平均 16.7%より数%高かったことが報告された。また、コンクリート技士試験について 11 月 24 日に無事終了したこと、欠席者が少ない感じを受けたこと等が報告された。

（3）2024 年度収支決算中間報告について（資料 8）

事務局より 2024 年度収支決算について、予定どおり執行していること、10 月末現在で本部への預託金 3,100 千円を含め約 5,500 千円の残金であることが報告された。また、2024 年度より 1 年に 1 回までは研究委員会として懇親会（上限：税込み 5,000 円/名）を開催できることになったこと、「コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」では本制度を活用し開催済であることが報告された。なお、懇親会費の支出元については、これから審議することが確認された。

（4）JCI 年次大会還元金について（資料 9）

上田支部長より年次大会実行委員みなさまのおかげで年次大会 2024（松山）が盛況であったこと、収支的にも黒字であったことへのお礼が述べられた。さらに、直近 4 回の年次大会の還元金の使用計画の概要について説明がなされた。また、松山大会実施に伴う還元金について、4,000 千円超と想定される。2025 年 1 月中には四国支部の使用計画が必要になる。策定のため、使用方法について検討要請がなされ、以下の意見が出された。

- ・ 使用計画初年度である 2025 年度は四国支部創立 20 周年の節目の年であり、記念事業を行う。
- ・ 年次大会 2014（高松）の還元金の使用として、若手メンバーによる特別委員会が組織され活動させていただいた。通常の研究委員会より予算を増額し若手の委員会を設置する。
- ・ 若手、学生を対象としたシンポジウムを開催する。

以上の意見を参考に次回幹部会において具体的に使用計画を策定することが確認された。

（5）本部理事会、支部長会議の報告について（資料なし）

古田本部理事より、来年度より Web 管理費負担を本部から支部に移管することが報告された。

(6) その他

①本部代議員推薦候補者について (資料 10)

事務局より本部代議員の四国支部推薦者 7 名について、快諾され早々に準備できたこと等が報告された。

②2025 年度四国支部執行部について (資料 11)

上田支部長より 2025 年度は支部長が大内現副支部長になるので後任の副支部長選任について意見を求められ、他の執行部も含めて以下のとおり確認された。

- ・ 副支部長候補として、横井幹事を推薦する。
- ・ PC 協会から委員を推薦していただくこととなり、橋本先生が担当することになった。
- ・ 本年 5 月に幹事を退任された氏家先生を支部顧問に推薦する。河合先生が確認することになった。
- ・ 鈴木卓支部執行委員の所属を「工学部社会システム工学科」から「システム工学群」に修正する。

以上の確認事項を含め、1 月 21 日の支部執行部候補者推薦委員会で決定することが確認された。

以上

(記録者：古田 満広)